

俳句ポスト 秋の部 特選句

亀田 紀代子 選(白山市俳句協会)

ひまわりの迷路に子らの笑い声	小松市	中村 幸子
園児らの声束となる秋の径	兵庫県	保理江 順子
老いたりと言へど手抜かず盆支度	兵庫県	保理江 順子
足元に風まとひつく花野かな	愛知県	与玖法破来
故郷の山は変はらず盆の月	東京都	高嶋 旅人
主なき卓の広さや秋の風	東京都	中島 節子
ねこじやらし一つ振り振り童心に	兵庫県	保理江 順子
新涼の光を紡ぐ水車かな	能美市	森田 香津美
野天湯を掬ふ手に月揺れにけり	能美市	森田 香津美
口切や飛び石伝ふ下駄の音	橋爪町	瀬法司 育子
身に入むや静かに御座す下山仏	中町	佃 久美子
爽籟や勘亭文字の藍暖簾	中町	佃 久美子
山里の名水を汲む秋の朝	中町	佃 久美子
紅葉照る山ふところのレストラン	兵庫県	保理江 順子
俎に柚子の香りの残りけり	兵庫県	保理江 順子
赤い羽根今日のアナウンサーの胸	兵庫県	保理江 順子
空晴れて桜もみづる敏の像	金沢市	寺井 一二美
満杯のシャトルバス行く文化祭	八ツ矢町	戸田 敬子
大空に届く声援草相撲	河内町きりの里	南保 蒼生子
接岸す十万トンの秋灯	東京都	山崎 勝久

選者吟

秋立つや足のみ見ゆる試着室

紀代子

〈令和5年8月～10月 投句数1,397句, 投句者数 244人〉